

「YokaYokaの活動紹介」

任意活動団体YokaYoka 前田嶺

前田 嶺（任意活動団体YokaYoka 代表）

1985年1月21日生まれ

幼稚園～高校生 ボーイスカウトをやる

アニメ好き（年間100作）
→ヒックとドラゴンがおすすめ!!

ゲームは、スプラトゥーン3が大好きです。

清水市民活動センター の副センター長



余暇を楽しんでいる人



障害がある社会から、生涯楽しめる社会へ

障害がないフラットな社会

理念

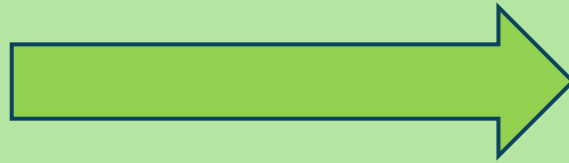
障害は社会の中にある

社会の中の障害を取り除くことにより、
皆が楽しむ事ができる社会の実現を目指します

障害の社会モデルをベース

今まで

個別モデル
(医療モデル)



現在

社会モデル

障害者が困難に直面するのは「その人に障害があるから」であり、克服するのはその人（と家族）の責任だとする考え方

「社会こそが『障害（障壁）』をつくっており、それを取り除くのは社会の責務だ」とする考え方。
個人の特性と社会の間に障害物がある。

「自立」とは、依存しなくなることだと思われがちです。でも、そうではありません。「依存先を増やしていくこと」こそが、自立なのです。



東京大学先端科学技術研究センター准教授
熊谷 晋一郎先生

居場所ベースの余暇支援

社会の中に依存できる「居場所」
が沢山できる!!

YokaYokaの活動が、その一つに
なれば、嬉しい!!

コミュニケーション能力 左右されない場所

コミュニケーション能力とは？

近くの2人～3人で、3分ほど話してみてください

コミュニケーションの語源

ラテン語の「communis」（共有、共通の）や
その動詞形である「communicare」（分かち合う、
伝える、共有する）

自分の「内部リソース（経験・記憶）」と「外部リソース（状況・環境）」とが相互作用を起こした結果、僕たちが「能力」と呼んでいるものがそのつど生成される。

週刊ダイヤモンド: 自称「コミュ力高い」人を論破する学説

内部リソース



経験・属性

外部リソース

ルール

人

もの



相互作用



小学生高学年～高校3年生まで
不登校や発達障害(ASD)の子に届けたい

自閉症スペクトラム障害(ASD)の主な特徴

- **言葉のコミュニケーションが苦手**
言葉の裏にある意味をくみとるのが難しいなど
- **人と関わるのが苦手(対人関係や社会性の障害)**
目を合わせない、空気を読むのが苦手など
- **こだわりや興味に偏りがある**
予定が変わるとパニックになってしまうなど

対 象

自分の特徴を人に説明できる言葉として、この診断が欲しいと思い、数ヶ月後、医師の診断を受けた私は念願の診断書を手に入れました。ようやく「自分は何者か」という長年の謎が解け、後はもう普通のふりをやめて、ひっそりと暮らしていけばいいと思っていたのですが、そう簡単にはいきませんでした。

というのも、他者とのすれ違いがあった時に、診断のせいで“**全部私のせい**”になってしまふということが起こり始めたのです。

コミュニケーションはなぜすれ違った？- 発達障害の当事者研究より -



綾屋紗月先生
東京大学先端科学技術研究センター特任准教授

ゆるい枠組み

『安心できる』『楽しい』を感じられるために
ゆる～いルールがあります。

まほろばのルール

1. 人のプレイをバカにしない
2. 1プレイで交代しよう
3. ゲームは、大事に扱おう

シェアする関係

『縦』『ななめ』『横』でもない関係性

キーワードは、『一緒に』

- ・ 通信制に通っている高校生とその弟(中学生)
- ・ 中学時代は学校が苦手だった通信制に通う高校生
- ・ 外国にルーツを持つ高校生
- ・ 特別支援学級に通う中学生

通っている内に見知った関係になったり、
新しい人とのつながりを作れる憩いの場

中学2年生男子(当時)

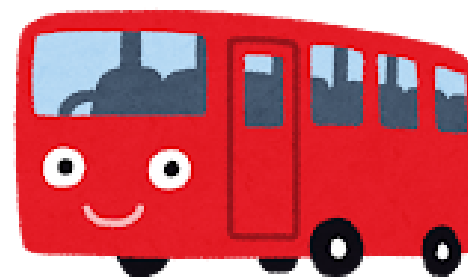
気軽に行ける場所。
1人で楽しむ時間も楽しいけど、
みんなですごす活動の時間も楽しい。
自分にとっては癒しの場所になっている

中学3年生男子(当時)

週末の居場所

静岡市番町市民活動センター 会議室

静岡市葵区一番町50



ボードゲームの居場所(みんなのゲームクラブ)



月1回開催

デジタルゲーム(ゲームギルドまほろば)



月1回開催

本・漫画(まんきつ)



不定期開催

外出イベント



3～4月に1回開催

参加の仕方（入会・登録必要なし）



週末の居場所

平日の居場所

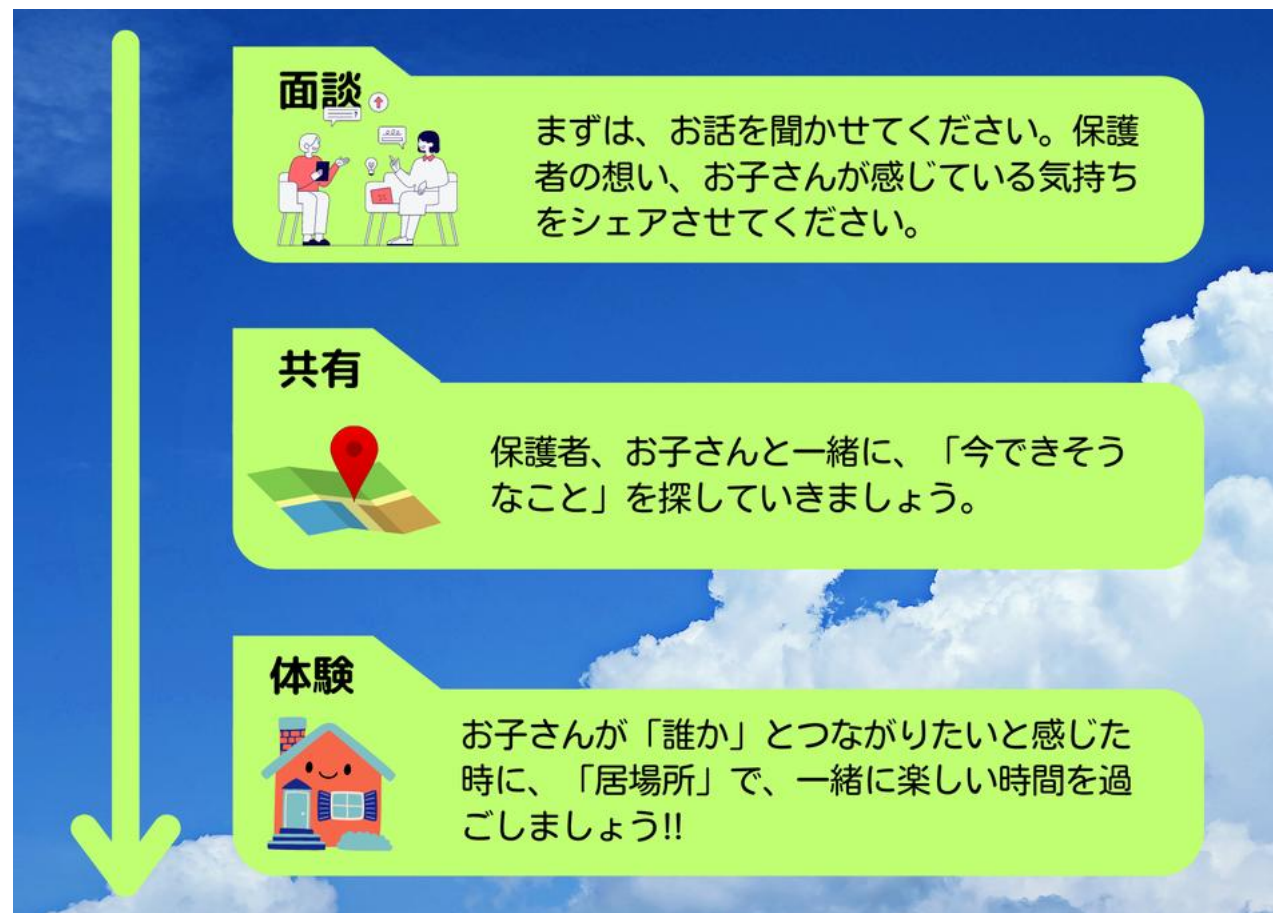
セーブポイント



ボードゲームカフェあなぐま (清水区巴町7-3コーポS)

毎週月曜日13:00~15:30

参加の仕方（入会・登録が必要です）

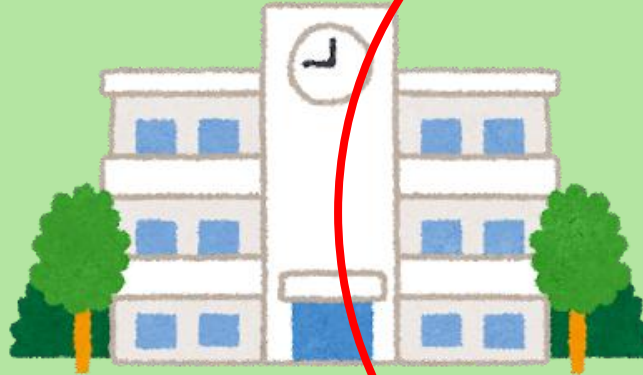


平日の居場所

2.5～の居場所だと思っています。



第1の居場所



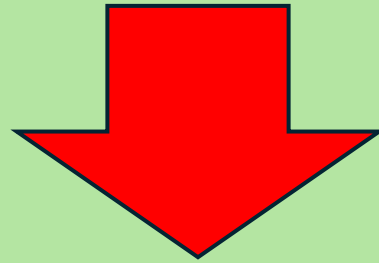
第2の居場所



第3の居場所

こうゆう子が向いているかもしれない

前提:全員にとって、居場所になるわけじゃない



誰かと何かをしたいという「欲望」が立ち上がってきている

不登校の子どもでいえば、回復期

心が回復するまでの地図

心療内科医・
明橋大二さんの指摘より

① 身体症状

対応・環境調整



② 感情の放出

対応・付き合う



③ 言語化

対応・最後まで聞く



本当は〇〇が
イヤだった

そうなんだね



④ 親離れ

日常はミクロな視点で

引用：

「不登校の子どもが1歩を踏み出すとき

は？」『不登校新聞』代表が語る心が回復

する4つの過程

子どもの居場所の現状と課題

注目される居場所

人間は社会的な動物であり、肯定的・開放的な関係の中に自分の居場所を持つことは、自己肯定感や自己有用感に関わるなど、**全ての人にとって生きる上で不可欠な要素**である。当然、こども・若者が生きていく上でも不可欠と言えるものであり、居場所がないことは、人とのつながりが失われ、孤独・孤立の問題と深く関係する重大な問題である。

こども家庭庁：こどもの居場所づくりに関する指針

居場所とは？

「いるところ。いどころ。」

広辞苑（第七版、2018年）

物理的な空間だけで、
居場所になるのか？

居場所を分解してみよう!!

居

ることができる
られる

場所

居場所とは・・・

- 空間や場所だけでは、「居場所」にならない。
- 「居ることができる」、「居たい」「居てもいい」という本人が感じる心理的な面も大事。
 - その心理的な面として、「安心感」「楽しい」「落ち着く」「居心地が良い」などがある
 - では、その気持ちを作るものは何か？

関係性に宿る「居場所」

不安を感じている

どんな眼差しをむけてくれる人なのか？

どんな風に過ごせる場所なのか？

来る人×居る人

不安が解消されていく



安心感を感じる
楽しくなってくる



居場所になる

来る人×場所

「居場所」の課題①

団体：居場所として活動



開きがある

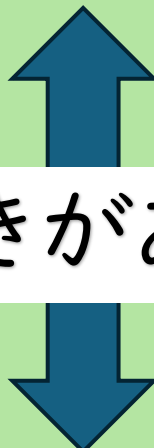
子ども：居場所になっていくプロセス

こども・若者が過ごす場所、時間、人との関係性全てが、こども・若者にとっての居場所になり得る。すなわち居場所とは、物理的な「場」だけでなく、遊びや体験活動、オンライン空間といった多様な形態をとり得るものである。

こども家庭庁：こどもの居場所づくりに関する指針

「居場所」の目的は？

子ども：居てもいいと思える場所ができる



開きがある

大人：身につけてほしい・変わってほしい

「居場所」の課題②

今という瞬間



子ども



未来のために



大人

大人にとって都合が良い『子どもの居場所』になっていないかという視点が重要



大人

子ども達が1から考えてやりました!!

この子の好きなことを入り口に
SSTをやろうかな??

こども達のやりたいことなのか?

居場所とは

こどもが過ごす場所・時間、人との関係性すべてが、こども・若者にとって居場所になりえる。また、その場や対象を居場所と感じるかどうかは、本人が決めることであり、そこに行くかどうか、どう過ごすかなど、こども本人の主体性を大切にする。

こども家庭庁 資料3 こどもの居場所づくりに関する指針(やさしい版)

YokaYokaの課題①

運営している中の人、平日は働いている。本人たちの生活もある

→活動できて、月2回～3回が限界(週末)

→居場所と感ずるようになってもらうには、回数が足りない。

→予算に余裕があれば、固定の居場所が欲しい。

人の課題

YokaYokaの課題②

参加費(300円程度)は取っているが、会費はとっていない

→活動が安定しない。(全員ボランティア)

→固定の場所が欲しい。

→YokaYokaサポーターを募集中です。

資金面の課題

最後に1言

人はパンがなければ生きてはいけない。
しかし、パンだけで生きるべきでもない。
私たちはパンだけでなく、バラももとめよう。
生きることはバラで飾られねばならない。

國分 功一郎：『暇と退屈の倫理学』